

## 【基本理念】

私たち職員は、県営医療の根幹である「県民に平等な医療の恩恵を」の精神を受け継ぎ、患者さんに「誠実と医学で支える良質な医療」を提供し、地域の人々に愛される病院づくりを進めます。

## 年頭所感

院長 川村 秀司

新年明けましておめでとうございます。2026年の年頭にあたりご挨拶申し上げます。

世界を翻弄するトランプ関税により、わが国でも米国へ対関税策として約80兆円の投資や2026年度予算案で防衛費のさらなる増額が閣議決定されることとなりました。そのお金があればどんなに国民の生活が楽になり助かることか。国を守るためとは言え、どこか釈然としません。高市内閣に代わり、18.3兆円の補正予算で物価高騰の波はやや改善傾向（内11.6兆円は国債）にあります。これによって材料費、人件費の高騰が原因とされる病院の赤字経営に関しても今回一時的に止血されそうですが、次年度の診療報酬改訂で実質2.22%の引き上げにより果たして長期的にみて改善するのか注視していかなければならず、油断は出来ません。

2040年に向けて起きる人口構造の変化は、「高齢者の高齢化と生産年齢人口の激減」であり、2026年からスタートする新たな地域医療構想の作成準備はこれを見据えています。今後人口減少で患者さんが減る一方で、高齢者はさらなる増加の一途を辿る中、高度医療（医療資源投入量を多く要する重症患者）は減り、入院期間の短い入退院を繰り返す軽症な高齢患者が増加することになります。そうなるとう高度急性期・急性期よりも回復期・慢性期へ徐々にウエイトを置く必要があります（一部重症もありますが、終末期に近い病態です）。当院でも地域医療構想、並びに地域包括ケアシステムから病院機能の在り方、機能分担・連携強化のため地域包括ケア病床を立ち上げ、さらに令和6年度から1病棟休床とした後、翌7年度から1病棟へと病床削減を行いました。政策誘導や医療の高度化による平均在院日数の短縮の一方で、高齢者の廃用による入院の長期化により回復期・慢性期の次の療養場所の確保が困難となりつつあります。社会保障制度が危うくなった最大の理由は医療技術の進歩や高齢化（予想外の長生き）であり、財源問題から国民皆保険制度、介護保険制度がはたして今後も維持出来るのか懸念されるところでもあります。誰もがより良い医療の提供を望む一方で、国の政策の1つである国民医療費の抑制という良策はあり得ず、これからは医療の在り方（介護も含め）を国民に問い、どう選択するのかが問われる時代に入ってきたのではないかと思います。打ち出の小槌はないのです。もはや人口が増え、高齢者が少ない高度成長の時代ではなく、今は全くその逆になっているのです。国民一人ひとりが真摯になって今後の医療・介護に対する姿勢（予防医

学、応能負担等)を示す意識改革の時代にきているのではないのでしょうか。

年々医療環境は厳しさを増し、現場においても従来のやり方が通用しなくなってきており、改革を受入れる覚悟が問われることとなります。そのような中でも、病院の使命である医療提供は言うまでもありませんが、さらにこれからは地域包括ケアシステムが謳っている“高齢者の生活を支える、ことに尽きます。そのためには病病・病診連携はもちろんのこと多職種協働が欠かせません。今後もより一層複雑な時代に向かう中において、人口減少でマンパワーが厳しくなる時代です。働き方改革で、つい医療者側を中心に回しがちになる傾向にあります。患者さん側を中心とする心掛けは決して忘れてはならないと思います。重く、厳しい言い回しになりましたが、赤字経営が続いている今の状況下ではこのような言い方にならざるを得ません。しかし、自ら健康で幸せであればこそ他人を思いやる気持ちが持てるものではないのでしょうか。『相田みつを』さんが言われた“しあわせは いつも じぶんの ところが きめる、を提示させていただきます。医療提供するためには先ずは我々が健康で幸せになることです。皆様の健康と幸せを願って止みません。今年も宜しく願いいたします。



# 「救急の日」 記念市民公開講座

当院では、毎年9月9日の「救急の日」関連のイベントとして、記念市民公開講座を開催しています。

日時：令和7年9月8日（月）14：00～15：00

場所：江刺総合支所 多目的ホール

## 講演内容、講師

### ①AED（自動体外式除細動器）使い方を学ぼう

岩手県立江刺病院 地域医療科長 上田 寛修 先生

### ②DNARについて

奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部 高橋 清人 先生



参加者は、一般市民38名、当院職員はスタッフを含め13名、合計51名でした。

アンケートでは、講演終了後に実際にAEDを使用できたのはよかった。自分が何をしたらよいか明確であった。AEDの重要性とDNAR時の搬送について理解できた。会話的講義で良かったなど多くの意見、感想がありました。

アンケート結果を踏まえて、ACPの必要性についても理解を深めていただき、今後も多くの方に足を運んでいただけるような市民公開講座を開催していきたいと思っています。



# 防災訓練

消火!



【第1回目】 令和7年9月16日(火)13:30~14:10

## (1) 消火訓練

岩手県立江刺病院防災管理要綱に基づき、火災発生時の消火活動を迅速に実施するための訓練として、当院屋上にて職員等22名が参加して行いました。放水者からの合図を受けて、ホースのねじれを修正する係が確認後、消火栓の元栓を操作する係が「元栓開きます！」などと、大きな声で手順を確認し合いながら3名1組となり訓練を実施しました。

## (2) 避難訓練

階段等でエアーストレッチャーを使用し、搬送訓練のシミュレーションを行いました。



【第2回目】 令和7年10月28日(火)13:30~14:00

総合訓練として夜間想定で通報・初期消火・避難誘導訓練を実施しました。

火事だー!



患者搬送



初期消火

院内放送



避難報告

講評



## 【消防署からの講評】

- ・ 3階病棟のスロープの鍵を持たずに避難したため、本当の火災があった場合は逃げ遅れていることになる。
- ・ 消火栓を2ヶ所使用(本来は1ヶ所のみ予定)し初期消火を実施していたので、消火する人と避難誘導する人に分けたほうが良い。
- ・ 防火訓練にあたり、シナリオを作成しそれに基づき行動していたので、次回からは訓練概要のみ作成し個々がどのように行動すればよいかを考えて訓練したほうが本当の火事の場合に失敗しないのではないかとこの助言もいただいた。(雨が降ってきたため院内で実施、消火器操作訓練は説明のみ)

【胆江地区災害医療訓練】 令和7年10月11日(土)9:00~12:00(訓練振り返り含む)

午前9時、岩手・宮城内陸に震度6強の地震発生(津波なし)、当院を含めて7病院(胆沢病院DMAT含む)、奥州市・金ヶ崎町、消防本部、奥州医師会、奥州保健所が参加してBCP訓練を実施しました。

当院は、林道の土砂崩れによる車両転倒事故等の発生や多数の負傷者が生じたことによる患者の受け入れ支援という想定で参加しました。本部の立ち上げ、空床状況の把握による受入患者可能人数の調整による体制の整備及びEMIS入力などを行いました。

# 永年勤続表彰

## 岩手県職員表彰者（25年勤続）

主査視能訓練士	芳賀	妙子さん
主任看護師	藤原	圭子さん
看護師	平野	恵美子さん
看護師	及川	起美子さん

## 医療局職員表彰者（20年勤続）

看護師	藤巻	智美さん
-----	----	------



令和7年度岩手県職員表彰式が10月27日（月）にトーサイクラシックホール岩手、医療局職員表彰式が11月7日（金）にホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにて執り行われました。

当院からは上記の方々が表彰を受けられました。

祝賀会は、11月13日（木）18時30分から新茶屋で開催しました。



※ 当日は都合により、主査視能訓練士 芳賀 妙子さん、看護師 平野 恵美子さんが欠席となりました。



岩手県立江刺病院 ◆診療案内◆

令和8年1月1日

診療時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	備考
地域医療科	—	—	—	—	上田 寛修	
消化器内科 8:30~11:30	—	野呂 明弘 (応援医師)	—	—	—	予約可
	勝又 宇一郎 (胆沢病院) (第1・3・5週)	一ノ瀬 高志	一ノ瀬 高志	—	一ノ瀬 高志	
	松浦 佑樹	—	伊丹 英昭	岩手医大医師 (交替)	松浦 佑樹	
午後診療 14:30~16:00	伊丹 英昭	伊丹 英昭	中野 巳三喜	中野 巳三喜	中野 巳三喜	
腎臓内科(透析)	遠藤 龍人 (岩手医大)	—	—	—	—	※ 予約制
呼吸器外来 13:30~15:00	松浦 佑樹	松浦 佑樹	松浦 佑樹	菊池 調(胆沢病院)	松浦 佑樹	
循環器内科 8:30~11:30	—	一ノ瀬 高志	—	—	—	予約可
	砂子澤 茂昭	砂子澤 茂昭	砂子澤 茂昭	砂子澤 茂昭	砂子澤 茂昭	
小児科 14:30~16:00	上田 寛修	上田 寛修 (第2・4週)	上田 寛修	上田 寛修	—	
乳児健診 /予防接種 13:30~14:30	—	—	—	—	総合水沢病院医師	小児科一般診療
	—	—	—	—	慢性疾患外来	
外科 8:30~11:30	—	—	—	—	乳児健診	※ 予約制
	—	—	—	—	予防接種	※ 予約制
整形外科 8:30~11:00	松井 雄介	松井 雄介 /県立紫波地域診療 センター医師(順不定)	川村 秀司	川村 秀司	肥田 圭介 (岩手医大)	予約可
皮膚科 8:30~11:30	中村 天音 (胆沢病院) (第1・3・5週)	—	—	—	—	予約可 新患受付は 10時30分まで
	大竹 伸平 (岩手医大) (第2・4週)	—	—	—	—	第2・4週は 予約のみ 受付は10時30分まで
泌尿器科 8:30~11:30	—	岩手医大医師 (交替)	—	—	—	予約可 新患受付は 11時まで
産婦人科 8:30~11:00	佐々木 英夫	佐々木 英夫	佐々木 英夫	佐々木 英夫	—	
眼科 8:30~11:30	—	—	岩手医大医師 (交替)	—	—	予約可
リハビリ テーション科 8:30~11:30	—	三善 重徳	三善 重徳	—	三善 重徳	予約可/新患受付 は10時30分まで /眼科は紹介患者 は要予約です
もの忘れ外来 8:30~11:00	清水 幸彦	清水 幸彦	清水 幸彦 (第1・3・5週)	—	—	
もの忘れ外来 8:30~11:00	—	—	—	鬼澤 民雄 (胆沢病院)	—	新患:1日1名 新患受付9時まで ※必ずご家族と おいでください

※ 新患の受付は8時30分からです。

・ 学会等で担当医師が不在になる場合や診療日が変更となる場合は、事前に掲示してお知らせします。

TEL0197-35-2181・FAX0197-48-2281